

抽水植物

水面を覆い尽くし流れる切れ藻が水利施設に押し寄せる

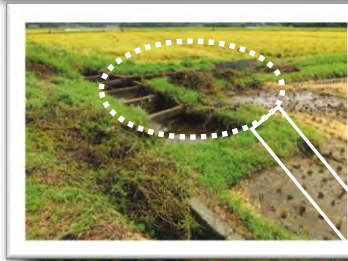
発行/2022年3月改訂 農林水産省農村振興局鳥獣対策・農村環境課

■オオフサモ 特 緊



茎: 水面上の高さ0.1~0.3m、長さ2m
 水上葉は鳥の羽のような形で、粉っぽい白色を帯びた緑青色。一節に5~6枚ずつつく。
 花は小さく目立たない。日本にあるのは雌株のみで種子はつけない。

このような被害が出ます!!



台風の時期の8月の大雨で、小排水路と支線排水路の合流点に集積し、溢水した結果、周辺の畦畔が崩れてしまった。

通水障害!

氾濫!



初夏から秋に、大雨で流されて用排兼用水路内の狭窄部の水門に詰まり、排水できずに水が溢れた。(写真は12月)

水門の開閉障害!



初夏から秋には、水門を覆いつくし、ゲートが開かなくなるおそれがあった。(写真は12月)

特 (特定外来生物) は、外来生物法により、飼育・栽培、運搬、保管、野外に放つ・植える・撒くなどが禁止されています。
緊 (緊急対策外来種) は、生態系被害防止外来種リストのカテゴリ区分で、対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある外来種です。
 詳しくは、日本の外来種対策 <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html> をご覧ください。

● 生育環境：

日当たりの良い水辺や湿地

ため池の水面にマット状に繁茂していた。(写真は5月)



水田横の排水路を一面に覆っていた。(写真は6月)



● 繁殖方法：切れ藻で拡散(※日本にあるのは雌株のみで種子はつけない)

茎がちぎれて水に運ばれた場所で再生・繁茂。(写真は7月)



他の植物に引っかかる。九州地方では3月頃から生育を開始する。(写真は12月)



● 対策

- 生育量が少ない時期に除去する。
- 切れ藻(茎の破片)からも再生するので、それらもできるだけ回収する。
- 湿った土の上に置くと、根付いて再生するので、アスファルト等の上に置く。
- 日本では種子をつけないので、種子から再生するおそれはない。

幹線用排水路(クリーク)で実施された重機による除去作業。



オイルフェンスに溜まったオオフサモ。(写真は12月末)



本資料に対するお問い合わせ

北海道開発局農業振興課 011-700-6768
東北農政局農村環境課 022-221-6256
関東農政局農村環境課 048-740-0515

北陸農政局農村環境課 076-232-4533
東海農政局農村環境課 052-223-4631
近畿農政局農村環境課 075-414-9052

中国四国農政局農村環境課 086-224-9417
九州農政局農村環境課 096-300-6436
沖縄総合事務局農村振興課 098-866-1652

農林水産省農村振興局鳥獣対策・農村環境課 03-3502-6091